

愛西市 4月から値上げラッシュ！！

日本共産党市議団は、値上げ案に反対

愛西民報

2024年
4.5月
第79号

日本共産党
愛西市委員会

(発行責任者)
加藤敏彦委員長
(市議会議員)
河合 克平議員
真野 和久議員

0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
0	9	0	8	3	3	3	3	4	8
0	9	0	4	1	9	8	4	5	1
6									

年間4040円に値上げされ、負担増になります。

水道料金 県内1位2位に
(八開地区・佐織地区)

佐屋地区・立田地区の農業
集落排水や、永和台コミュニ
ティ・プラントは、公共下水
料金並みに値上げされます。
立田地区、八開地区の維持
管理分担金は廃止されます。

3月の市議会は、令和6年度の予算を可決しました。日本共産党市議団は、道の駅などに総額48億円大型投資をする一方で、市民生活が大変なときに国保税値上げなど住民に負担を押し付けるのは認められないと予算に反対しました。

**国民健康保険税
年間6万7千円の値上げ**

所得割を1・53%、被保

**介護保険料
年間4万7千円の値上げ**

除者均等割額を8700円、世帯別平等割額を1600円と大幅な値上げです。所得200万円4人世帯で年間6万7千円の負担増になります。

標準となる第5段階は、年3千円の負担増、第15段階では4万7千円の負担増になります。

**後期高齢者医療保険料
年間4040円値上げ**

河合かつべい議員は、一般加入する後期高齢者医療制度の保険料は、所得割率が1・56%、被保険者均等割額が

質間で国民健康保険税について、国・県・市の補助を拡大し、国民健康保険税の抜本的引き下げを求めました。介護保険料は、5億円を超える準備基金全部を活用し、引き下げを求めました。

4月から八開地区・佐織地区の水道料金が値上げ。現在でも愛知県内で高い料金ですが、改定後には、使用水量20m³で県内1位(八開地区)、2位(佐織地区)になります。これまで、物価対策で行われた基本料金の免除も4月からなくなり、市民の暮らしに大きな打撃となります。

**佐屋地区・立田地区の
汚水処理使用料
令和7年4月から値上げ**

反対の声を無視して進める 学校統廃合に反対

愛西市は 愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画【第 期：令和6年度～令和13年度】を決定しました。



市民からの意見募集は、過去最高となる136件の意見が集まりました。その多くが見直しを求める意見でした。日本共産党は住民の納得のいく合意形成を丁寧に行うべきだと考え、拙速な学校の統廃合に反対します。

議会は立田地区の陳情を無視

日本共産党市議団は、昨年、立田地区から出された陳情書(一旦計画を中止し、住民参加での再検討を求める要求)を論議することに賛成しましたが、多くの議員の反対で否決されました。議会は、住民の声を聞くべきです。教育委員会も、今後の準備委員会で検討するという逃げ道で、住民の反対意見を封じました。住民が納得のないまま、学校関係者で統合の具体化を進めています。

永和中学校を追統合の記述は削除に

永和中学校は、追統合に反対するパブリックコメントが多数出たという理由で追統合という記述は削除されました。立田・八開地区でも反対意見が多数出ていますから一旦統合は中止すべきです。

地域の学校は地域で残す声を市政に届ける

統廃合を進めた市町では、学校がなくなる地域のコミュニティが崩壊し、人口減少が進んでいます。日本共産党市議団は、地域の学校をなくさないで声を市に届け続けます

緊急通報システムや高齢者見守り事業の有料化

今まで無料だった一人暮らし高齢者の緊急通報システムが有料化され、年間6000円の利用料金がかかるようになります。また、冷蔵庫の開閉から在宅状況を把握し、通報する高齢者見守り事業も、年間6000円の利用料が必要で

物価対策で基本料金無料化で本当に助かっていたのに、廃止になり、値上げもされてはやっけていけません。何とかして。

草平町・女性



市民の声をとどけて実現しました

日本共産党愛西市議団が、市民の皆さんと一緒に署名をあつめ、市に求めてきた要望が、令和6年度の予算で実現しました。

子ども医療費の無料化（継続）

子ども医療費は、18才年度未まで窓口で無料にです。



中学校給食費の無償化

中学校の学校給食費が無償化されます。小学校は教育費の負担が少ないからという理由で行いません。党市議団は、小学校の給食無償化を引き続き求めていきます。

中学校体育館へスポットエアコンの設置

中学校体育館は、部活動で使う時間が多いとの理由から、熱中症対策としてスポットエアコンを設置します。党市議団は、災害時避難所対策として、小学校体育館への設置も求めていきます。

高齢者福祉タクシー 買い物などにも利用可能に

高齢者の福祉タクシーは、利用目的の制限がなくなります。

対象は、65歳以上は、要介護認定者、免許証を持っていないなど運転できない方が対象となります。80歳以上は、これまで通りすべての方が対象となります

河合かつぺい議員は、佐屋駅前広場の整備について、「地域住民との協議を重ねている佐屋駅前整備基本構想と令和5年度に進めてきた基本計画の内容」を確認しました。基本構想では、佐屋駅周辺の将来像と本事業の基本的な方針を定め、誰もが安全・安心に利用できる駅前広場の整備を目指す」と答弁。

西側駅前広場では巡回バス、一般送迎車の乗降所を備えた駅前ロータリーの設置、歩行者用通路等の配置、東側駅前広場では駐輪場の確保、ロータリー等多様な用途に利用可能な空間を配置、駅前広場により発生する行き止まりの解消や、北側からのアクセス性向上による駅利用者の利便性の向上を行う」と答弁。

また、基本計画では、駅前ロータリーの形状や駐輪場の配置などを計画するとともに、概算工事費、用地買収費などの算出や費用便益の分析をしている」と答弁。佐屋駅前整備の詳細があきらかになってきました。

市の非常備蓄食料（主食）は、36700食です。市は避難所避難者想定9000人のうち家庭備蓄をしていない5400人を1日2食で3日間を賄えるとしています。あま市は、アルファ米だけでも68000食あります。

まの議員は、「自宅倒壊などで家庭備蓄を使えないことも予想されるなど、備蓄量として少なすぎる」ともっと増やすよう求めました。

まの議員は、津波・浸水時のために高い建物が必要で県と協議するよう求めましたが、部長は、被害予測では、この地域は浸水しないと否定しました。

安全で利用しやすい
佐屋駅前整備を求める



河合かつぺい議員

日本共産党議員の一般質問

災害時に市民が安全に避難できるように



まの和久議員

災害用備蓄食料 現状の想定では不十分

津島北高校
まの議員は、町方地区は高い建物がなく、津波避難などができるよう津島北高校を緊急避難場所にするよう求めました。

地域の状況に応じた緊急避難場所の設置を

まの議員は、津波・浸水時のために高い建物が必要で県と協議するよう求めましたが、部長は、被害予測では、この地域は浸水しないと否定しました。

高齢者避難支援の改善を

愛西市は、高齢者、障害者、難病患者などを対象に「要支援者台帳」を作成しています。自主防災会との情報共有に同意した方は、希望する自主防災会に名簿が提供されます。その名簿をもとに声掛けや避難訓練も行われています。

まの議員は、「対象でない高齢者でも夫婦で避難に困難な方もいる」と高齢者世帯も名簿に入れるよう求めました。保健福祉部長は、例えば夫婦とも要介護度1か2など、必要と判断すれば名簿の対象

政務活動費の導入
政務活動費を導入します。議員一人年間上限204000円になります。使途の明確化、議会活性化を求めて賛成しました。

